

教 科	科 目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
国 語	言語文化	1 年普通科	4 単位	言語文化 (数研出版)	完全マスター 古典文法 (第一学習社) 新国語便覧 (第一学習社)

到達目標	① 国語の知識や技能を身に付け、理解を深める。 ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 ③ 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いを深める。 ④ 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	---

評価の観点	① 知識・技能	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙等を理解し、知識を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。目的に応じて、様々な文章を的確に読み取ることができる。 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	積極的に活動に取り組み、国語や言語文化に対する関心を深めている。自分の考えを深めたり発展させたりしながら、進んで表現したり理解したりするとともに伝え合おうとしている。

学習の評価	1 定期考査では①「知識・技能」②「思考・判断・表現」を中心に評価する。 2 予習状況・課題の提出状況・授業中の発問と応答によって③「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 1 の評価に 2 および出席状況を加味し、総合的に評価する。
-------	--

単元	学習内容	学習到達目標
【古】説話 宇治拾遺物語	「兄のそら寝」 「絵仏師良秀」 古文の基礎	・古文に親しみを持ち、話の面白さを理解する。 ・品詞を理解し、自分で予習ができる。 ・品詞の種類について理解する。 ・活用形と用言の活用の種類について理解する。
【古】随想 徒然草	「ある人、弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」	・助動詞の働きを理解し、口語訳に活用できる。 ・作者の人生観や古典の世界観を味わい、意欲的に読み進めることができる。
【漢】入門	入門一、二	・訓点、書き下し文のきまり、再読文字を理解する。

近代小説 詩歌	「羅生門」 「I was born」 短歌、俳句	・主人公の心理と行動の変化を正確に読み取り、情景描写に留意しながら文学作品を読むことができる。 ・朗読により詩のリズムを味わう ・詩の主題を捉え、解釈を深める。 ・韻文の特徴を知り、心地よいリズムを味わうとともに、言葉から情景と心情を読み取る
【古】歌物語 伊勢物語	「芥川」 「東下り」 「あずさ弓」	・適切な口語訳を通して、物語の展開や登場人物の心情を的確に読み取ることができる。 ・諧謔表現や和歌を理解し、主題や心情を読み取ることができる。
【漢】故事	「漁夫之利」 「狐借虎威」	・故事成語のもとになった話の内容を理解する。
【古】随想 枕草子	「ありがたきもの」 「雪のいと高う降りたるを」	・適切な口語訳を通して、物語の展開や登場人物の心情を的確に読み取ることができる。 ・敬語の用法を理解し、現代語訳の方法を学ぶ。
【漢】史伝	「管鮑之交」 「先從隗始」	・故事成語・成句を正しく理解し、長文訓読に慣れる。 ・基本句形等を理解し、長文の説話の内容を理解できる。
近代小説	「山月記」	・人物、情景を的確に捉え、人物の心情について自分の言葉で説明することができる。
【古】和歌	万葉集、古今和歌集、新古今和歌集	・序詞、縁語、掛詞等の用法を理解する。
【漢】漢詩	漢詩	・漢詩のきまりについて理解する。
【古】軍記物語 平家物語	「木曾の最期」	・敬語動詞の敬意と意味の関係を理解し、人物関係の読解に役立てる。
【古】俳諧紀行 おくの細道	「序ー漂泊の思ひー」	・表現上の特色を理解し、作品の主題を読み取ることができる。
【漢】思想	「論語」	・作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。
近代小説	「城の崎にて」	・文体や表現技法に注意して作品を読み、作品の主題を自らに引きつけて考える。
現代小説	「サラバ！」	・人物どうしの関係性を読み取り、文化の多様性のあり方について考える。